

宇都宮市立錦小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「1か月に、何冊くらい本を読みますか」について、5～11冊以上が62.8%で県の48%より14.8ポイント上回る。家読など継続して行っている効果もあると考えられる。

○「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている」について、肯定的割合が88.4%で県の74.4%より14ポイント上回る。授業で何が分かり、何ができるようになったのかを振り返ることができているので継続していきたい。

●「家で、自分で計画を立てて勉強している」について、肯定的割合が55.9%で県の70.4%より14.5ポイント下回る。保護者と協力しながら、自分で計画を立てて勉強できるように指導していきたい。

○「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いている」について、肯定的割合が86%で県の78.3%より7.7ポイント上回る。本校は国語の研究を続けてきており、その成果が表れたものと考えられる。考えを書く際には、理由まで明らかにして書けるように、今後も継続して指導していきたい。

○「次の教科などの学習は好きですか。理科」について肯定的割合が93%で県の87.5%より5.5ポイント上回る。可能なかぎり実体験に基づいての授業を行っていることで、理科が好きな児童が多いと思われる。今後も児童の興味関心を高められるように継続して指導していきたい。

●「新聞を読んでいる。」について本校の肯定的割合が7%、県の平均が12.1%と共に低い。インターネットの広がり家庭で新聞を読む機会が減っているためと思われる。インターネットは、その人の興味のあるニュースの表示が中心となるので、バランスよく情報を得られるように新聞などを読む機会を増やせるように啓発していきたい。

○「早ね、早起きを心がけている」について、肯定的割合が81.4%で県の75.9%より5.5ポイント上回る。保健の授業等で健康について学んだり、家庭で生活習慣について話し合ったりすることで、早寝早起きの大切さを理解していると考えられる。

○「家の人と学習について話をしている」について、肯定的割合が81.4%で県の74.1%より7.3ポイント上回る。日頃から保護者の理解・協力があり、児童が安心して学習に取り組むことのできる環境がつくられていると考えられる。

●「学校のきまりを守っている」について、肯定的割合が86%で県の92.4%より6.4ポイント下回る。学校のきまりの必要性を児童が実感し、守ることができるよう、声掛けを行いたい。